



【第29号】

令和2年 11月25日

福島県小名浜港湾建設事務所

おなはまみなと通信

【発行元】

福島県小名浜港湾建設事務所

企画調査課

☎ 0246-53-7126

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41400a/onahama-minato.html>

小名浜港にたくさんの生徒・児童が訪れています

港内見学及び現場見学会

当事務所では、港の役割や現状を知ってもらうため、職員がバスに同乗し、小名浜港の概要や各ふ頭での取り扱い貨物について説明しながら、小名浜マリブリッジ及び3号ふ頭から大剣ふ頭までを巡る港内見学を実施しています。今年度は10月までに、県内7校の生徒・児童、計340名が小名浜港に訪れ、港内及び現場を見学しました。随時受付を行っておりますので、詳しくは当事務所のHPもしくは企画調査課までご連絡下さい。

【10月までに訪れたみなさん】

- | | | | |
|---------------------|-----|-----------------------|-----|
| ・ 7月31日 福島県立平工業高等学校 | 75名 | ・ 10月 8日 平田村立ひらた清風中学校 | 60名 |
| ・ 9月11日 いわき市立磐崎小学校 | 90名 | ・ 10月16日 いわき市立高野小学校 | 7名 |
| ・ 9月30日 郡山市立守山小学校 | 63名 | ・ 10月27日 いわき市立湯本第二小学校 | 22名 |
| | | ・ 10月29日 いわき市立長倉小学校 | 23名 |

※港内見学は小・中学生、高校生を対象に実施しています。 ※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止にする場合があります。



いわき市が行っている「市役所出前講座」にも、小名浜港を見学できる講座を掲載しています。こちらは一般の方でもお申込みすることができます。

詳しくは「いわき市教育委員会」の公式ホームページをご覧ください。

小名浜港湾建設事務所では、いわき市内のみなとの整備、管理及び運営を行っています。「おなはまみなと通信」では、小名浜港をはじめとしたいわき市内の港湾・漁港の復旧・復興状況や話題などみなとに関する情報を発信します。

※おなはまみなと通信は、当事務所のホームページからもご覧いただけます QRコードはこちらです



小名浜港国際バルクターミナル供用式を開催しました

10月3日(土)、小名浜港東港地区において国・県・民間企業の合同主催による、小名浜港国際バルクターミナル供用式を開催しました。

赤羽国土交通大臣、内堀知事をはじめ、約70名の関係者が出席し、石炭の取扱量の増加に対応した新たな拠点の完成を祝いました。式典では、テープカットにあわせアンローダーによる荷役作業が披露されました。



祝 小名浜港国際バルクターミナル供用式



東港地区は石炭を扱う人工島であり、面積は約54ha、総工費は約1,400億円。最大水深18mの岸壁を備えており、積載貨物重量12万トン級の大型船舶が接岸可能です。整備が完了すると年間約800万トンの貨物を扱うことができるようになります。

小名浜港は水深の深い岸壁が少なかったため、船に積む量を減らして入港したり、沖で待つといった状況が続いていましたが、これが解消され、輸送コストの削減につながります。

東京ディズニーランドの面積(約51ha)とほぼ同じ！



小名浜港に今年初めてサンマが水揚げされました

11月4日(水)の朝、小名浜港漁港区に、北海道沖で捕れたサンマ約20tが今年初めて水揚げされました。不漁の影響で、例年より1ヶ月ほど遅くなりましたが、昨年より2週間早い水揚げとなりました。



編集後記

みなさんこんにちは！小名浜港湾建設事務所のとしひろです。
小名浜港の見学に来てくださった皆様、ありがとうございました！うまく説明できないところもありましたが、みなさんと港内を巡って楽しかったです。是非また、小名浜港に遊びに来てください。
今年も残すところ約1ヶ月となりました。次回のおなはまみなと通信は2021年の1月になります。これからも管内のイベント情報等を発信していきますので引き続きご愛読よろしくお祈いします。

としひろ君

